

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	3812
部 名	消防本部	課 名	警防課		課長名	前田清治
事務事業名	消防水利維持管理事業					
予算上の事務事業名	消防水利維持管理費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	23130		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政 策 名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします					
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度	
施 策 名	第3施策 消防力の強化				昭和63年以前	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
消防法、水道法等						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分 維持・管理・補修 ▼						
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
火災発生に備え、消防水利を常時使用できる状態に維持管理する。				市民		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
1 消火栓維持管理 5,878基						
2 防火水槽修繕 2基						
6 関連・類似事業や他市の状況						
他市町村においても本市と同様の事業を実施している。						
7 事業費の推移 [単位:千円]						
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事 業 費	49,612	48,934	50,923	51,628	51,845	
一般財源	49,612	48,934	50,923	51,628	51,845	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	8,390	8,010	8,007	8,007	8,007	
事業コスト合計(a)	58,002	56,944	58,930	59,635	59,852	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	消火栓維持管理事業			対象名称 (単位)	消火栓数(基)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	44,250	45,012	45,672	46,178	46,395	
対象数	5,695	5,793	5,878	5,943	5,971	
単位あたり経費(円)	7,770	7,770	7,770	7,770	7,770	
前年度比		1.00	1.00	1.00	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	消防水利維持管理数（基）		指標式と指標の説明	消防水利を維持管理した数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	5,698.0	5,795.0	5,880.0		
目標	5,698.0	5,795.0	5,880.0	5,943.0	5,971.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	火災の不延焼率（%）		指標式と指標の説明	不延焼火災／火災発生件数＊100 火災を延焼させない割合	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	255.0	233.0	218.0		
目標	272.0	253.0	234.0	234.0	234.0
目標達成度	93.8	92.1	93.2		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
C	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 補修の必要な防火水槽等消防水利に優先順位を設け、緊急性の高いものから積極的に補修し、消防水利の維持管理に努め、発生する火災等災害に備える。			14 課題として認識されたこと 補修が必要な対象がどうか再検討し、限られた予算を有効に活用して消防水利の維持管理に努める。また、消火栓維持負担金については、積算根拠を明確にするため、神奈川県企業庁水道局と協議していくことが必要である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
			担当課の課長による評価（今後の方向性）のとおり、見直しを進める。		